

浅口市立寄島小学校 令和5年度 学力・学習状況調査結果の概要 令和5年10月27日公表

全国学力・学習状況調査の概要

学 力 面	学 習 状 況 面
<p><成果></p> <ul style="list-style-type: none"> ○国語科では、学習した漢字を正しく読んだり、書いたりすることができる。 ○算数科では、図や説明文と表などの複数の資料を照らし合わせながら考え、読み取ることができる。 <p><課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ▲国語科では、文章の内容を読み取ったり、関係について考えたりすることができにくい傾向にある。そして、条件に合わせて文章に書き表すことに困難さを感じる児童も多い。 ▲算数科では、三角形の面積の求め方や高さの概念について理解が十分ではない。 	<p><成果></p> <ul style="list-style-type: none"> ○自分には、よいところがあると思っている児童の割合が高い。 ○地域の行事に積極的に参加し、地域や社会をよくするために何かしたいと思っている児童が多い。 ○授業に真面目に取り組む児童が多く、満足度は高い。 <p><課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ▲家庭学習目標時間の70分に取り組んでいる児童の割合が半数以下で、家庭学習への取組が弱い。 ▲授業などで自分の考えがうまく伝わるように、内容や組み立てを工夫して発表することができにくい。

岡山県学力・学習状況調査の概要

学 力 面	学 習 状 況 面
<p><成果></p> <ul style="list-style-type: none"> ○国語科では、学習した漢字を正しく読んだり、書いたりすることがよくできる。 ○算数科では、内容全体で全国平均とほぼ同程度までに伸びた学年が増加した。「数と計算」の領域の数の相対的な大きさは、どの学年もよくできていた。 <p><課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ▲国語科では、どの学年も文章の内容を読み取ることに課題がある。 ▲国語科、算数科共に、学年が上がり内容が難しくなると、全体的な正答率が下がっている。 	<p><成果></p> <ul style="list-style-type: none"> ○学校が楽しいと思っている児童が多い。 ○自分のよさを認識し、自己肯定感が高く、決めたことを最後までやり遂げる努力している児童が多い。 ○多くの児童が自分たちの住んでいる地域に愛着がある。 <p><課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ▲宿題以外の学習に積極的に取り組む割合が少ない。また、休日に学習を行っている割合も少なかった。 ▲1日2時間以上、普段からメディアを使用している割合が岡山県平均より高い。

改 善 策 学 校 での 取 組

- ① 授業づくり
 - ・「わかった、できた」の授業の実現 ・思考の場面を設定した授業づくり ・教材研究
 - ・学年ミーティングの時間の確保 ・授業の質の向上
- ② 基礎学力定着のための取組
 - ・「朝の学習」の時間の活用 ・繰り返し練習問題に取り組み ・学力テストの分析
 - ・結果を基にした研修 ・確かな学力定着のための取組を学校全体で考える
- ③ 人間関係づくり
 - ・年間3回の教育相談 ・ケース会や連絡会などの実施
 - ・スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー、登校支援員などとの連携
- ④ 家庭学習の定着
 - ・「家庭学習の手引き」の活用 ・「チャレンジ寄島」の期間を生かした家庭学習の充実。
 - ・家庭学習の見直しの実施

寄 島 学 園 での 取 組

- ・「チャレンジ寄島学園」を長期休業明けに保・こ・小・中で実施し、望ましい生活習慣の定着と家庭学習の習慣の定着に取り組む。
- ・小中で統一して作成した「家庭学習の手引き」を活用し、望ましい学習習慣の定着を図る。
- ・学校運営協議会が主体となって漢字検定を年2回実施し、積極的な取組を促す。
- ・課題になっている「読解力」の育成に向けて、朝の学習の時間などを使って小・中学校ともに「NIE」や「リーディングスキル向上プログラム」に取り組む。

家 庭 ・ 地 域 へ の お 願 い

- ・「家庭学習の手引き」を活用し、望ましい家庭学習の習慣が定着するように声を掛けてください。
- ・普段から規則正しい生活習慣が身に付くようにサポートをお願いします。
- ・ゲーム機器やスマートフォンなどの情報端末機器の使い方のきまりを家庭で話し合い、ルールを決めてください。